

海上分科会で提案された事項について

【航路再編についての一考察】

- ・江田島市の人口減、第2音戸大橋供用開始が江田島市に乗り入れる旅客船会社（以下、旅客船各社という）に与える影響は今後深刻さを増し、一社ごとの対応では使用船舶の老朽化、船員不足、燃料高騰などの諸問題を解決する術が見えない状況になることが予想される。
- ・既存の航路がそれぞれ健全な航路経営を存続出来れば理想であるが、近い将来、旅客船各社が一つの組織となって海上交通を支える時期が来ることも想定しておくことが重要である。
- ・そのためには、旅客船各社が出資する会社を設立し、このたびの西能美航路再々編に協同（共同）して取り組むことで、今後予想される海上交通問題に対処する組織環境を整えたい。
- ・今回の航路再編は、江田島市企業局経営の「中町・高田～宇品」航路を対象とし、可能な限り利便性を保ちながら市の財政負担を軽減するとともに、地域住民に欠くことの出来ない海上交通を維持する会社として事業展開を図り、市の定住と活性化に寄与することを目的とする。

【会社設立案】

- ・出資者は江田島市を含む海上分科会構成会社とし、形態は株式会社又は持株会社で検討する。
- ・商号、資本金、代表者は協議事項、ただし本社所在地は江田島市内とする。

【事業計画案】

- ・使用船舶 江田島市所有の高速船3隻
19トン型高速船も検討
- ・便数 平日24便 日祝祭日21便
- ・ダイヤ 0900～1630の時間帯で3便減